

第5章 特別活動

第1 本指導実践事例集の活用について

1 作成の基本的な考え方

- (1) 本資料は、小学校学習指導要領並びに埼玉県小学校教育課程編成要領の趣旨を踏まえ、同指導資料及び同評価資料との関連を図って活用できるように作成した。
- (2) 取り上げた事例は、小学校学習指導要領第6章の第2に示されている「各活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動）・学校行事」について、全てを網羅できるようにした。（学級活動については活動内容(1)及び(2)の2事例）
- (3) 今回の小学校学習指導要領改訂において示された教育内容の主な改善事項である言語活動、伝統や文化に関する教育、体験活動については、指導事例の中に盛り込み、活動の充実を図ることができるようにした。また、特に平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を踏まえ、防災の観点から学校行事の中で避難訓練を取り上げることにした。
- (4) 作成に当たっては、指導の流れが理解しやすくなるように、また、より活用しやすくなるようにと考え、それぞれの実践事例について指導案に則った形式で示すようにした。

2 取り上げた内容

- (1) 事例1は、学級活動・活動内容「(1)学級や学校の生活づくり」「イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理」について取り上げた。活動内容(1)における話し合い活動（集団討議による集団目標の集団決定）は、学級活動の中心的な活動である。ここでは、学級会が円滑に行われるようにするための事前の活動における準備や指導の在り方、学級会を行う上での展開時の留意事項、決定したことを具体的にどのように事後の活動につなげるかなどの理解をしやすい例として、年度当初の係を決める活動（4年生）を示した。
- (2) 事例2は、学級活動・活動内容「(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全」「エ清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」について取り上げた。活動内容(2)における話し合い活動（集団思考を生かした個人目標の自己決定）は、生徒指導の機能を授業として具現化する活動となる。ここでは、最高学年である6年生がアンケートやインタビューを通して自分たちの行動を振り返り、そこから明らかになった課題を共有化し、その解決のための工夫や改善策を考え、自分のめあてを自己決定し実践していくという活動を例に示した。このことは、学校教育の中で、キャリア教育を推進・充実させることにもつながるものである。
- (3) 事例3は、児童会活動について、内容「(1)児童会の計画や運営」及び「(2)異年齢集団による交流」に関わり、小学校と中学校が連携して取り組む「あいさつ運動」について取り上げた。この事例においては、事前の活動の内容が当日の活動を充実させることに大きく影響するため、特にこの部分の活動内容を詳しく示すようにした。このような活動を通して、小中の連携を図る活動を充実させ、いわゆる「中1ギャップ」に関わる課題解決において成果をあげている例がある。
- (4) 事例4は、クラブ活動について、内容「(2)クラブを楽しむ活動」に関わり、地域の方々の協力を得て郷土料理を作る手芸調理クラブの活動について取り上げた。ここでは、クラブ活動評価カードを活用し、事前の計画段階から事後の活動を見通しての指導事例を示している。また、クラブ活動を充実させる工夫の一つとして、地域の方々との触れ合いを紹介するクラブ活動コーナーの活用方法についても例示した。
- (5) 事例5は、学校行事について、「(3)健康安全・体育的行事」にかかわり、自然災害の発生を想定した避難訓練・引き渡し訓練について取り上げた。ここでは、日常の教師の配慮事項を事前指導に示し、安全に関する行事が、表面的、形式的な指導に終わることのないようにしている。また、避難訓練と引き渡し訓練を一連の活動の中で行うことにより、学校と家庭とが連携を図り、組織的に学校行事を実施する例として示した。

3 活用に当たっての配慮事項

- (1) どの実践事例も、事前から事後までの一連の活動を含んだものとなっている。各活動（学級活動、児童会活動、クラブ活動）・学校行事を展開するに当たり、1単位時間だけではなく、その活動を充実させるためにどのような事前・事後指導が有効かを考えて取り組むことが大切である。
- (2) 特に指導に際しての配慮事項を影付きの吹き出しで示している。評価規準や目指す児童の姿等の記載事項とともに、これらの内容を意識しながら取り組むことで、児童主体の活動を一層充実していくことが期待される。
- (3) 実践事例を参考に、それぞれの学校においては、学年・学級の実態や児童の発達の段階などを考慮し、自校ならではの効果的な指導方法を工夫し、それを展開していくことが望まれる。

第2 実践事例

事例1 学級活動 活動内容「(1) 学級や学校の生活づくり」 第4学年 年度当初の学級の組織づくり

1 議題 「4年1組の係を決めよう！」 (第4学年 イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理)

2 児童の実態と議題選定の理由

学級編制を行い、4年生として新しい学級での生活がスタートした。4年生になるという期待をもって進級した児童の目はみんな輝いている。しかし休み時間の様子を見ると、新しい学級での生活に緊張しているせいか前学級の友達や少人数で集まって遊んでいたりと、一人で本を読んでいたりする子もいる。声をかけ合って、みんなで楽しく過ごそうする姿はまだ見られない。早く新しい学級に慣れ、学級目標の実現に向けてみんなで協力していこうという学級意識を高めていきたいと考える。

本議題は、学級目標を決めたり、約束ごとを確認したり、学級の組織をつくる中で、係を決め活動していこうという児童の意識から生まれたものである。児童の発意を生かしながら学級の組織をつくる中で、児童の所属感や協力する態度を育てていきたい。その中で、児童自らが学級目標を実現させたという達成感を味わわせていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
学級の生活をよりよく、楽しくしていこうとする意識をもち、他の児童と協力して意欲的に係活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、係活動の内容や、自分の役割、仕事の進め方について考え、判断し、協力して実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団の中での係活動の役割、係活動と当番活動との違い、係活動の進め方について理解している。

4 事前の活動

月日(曜日)	活動の場	活動の主体	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿									
4/14(木)	昼休み	計画委員	・議題案を検討・決定する。	・計画委員は輪番制とし、多くの役割を経験できるようにする。									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">提案された議題</td> <td>係を決めよう</td> </tr> <tr> <td>提案した理由</td> <td>3年生のクラスでも係があつて楽しかったので、4年生のクラスでも係を決めたい。係活動を通してみんなが協力して楽しく活動して、仲よくなれるようないいクラスにしていきたい。</td> </tr> </table>					提案された議題	係を決めよう	提案した理由	3年生のクラスでも係があつて楽しかったので、4年生のクラスでも係を決めたい。係活動を通してみんなが協力して楽しく活動して、仲よくなれるようないいクラスにしていきたい。					
提案された議題	係を決めよう												
提案した理由	3年生のクラスでも係があつて楽しかったので、4年生のクラスでも係を決めたい。係活動を通してみんなが協力して楽しく活動して、仲よくなれるようないいクラスにしていきたい。												
	帰りの会	全員	・議題を決定する。 ・3年生の時、学級にどのような係があつたのかを確認する。 ・係活動と当番活動との違いを	・計画委員の提案をもとに、全員で決定するよう助言する。 ・係活動と当番活動の違いが明確になるように指導する。									
			<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>係活動</th> <th>当番活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動内容</td> <td>○学級の生活をより楽しく豊かにするために、児童自身が生活の中から見付け出し、創り出す活動。 ○児童が話し合いによって計画し、実施していく活動で、創意工夫の余地が多い活動。 〔例〕レク係、新聞係、学級図書係、お誕生日係など</td> <td>○よりよい学級の生活を送るために必要な活動。 ○年間を通して仕事の内容や方法、時間などが決められていて、どのグループでも同じ成果が求められる活動。 〔例〕日直、給食当番、清掃当番、各教科等の当番(準備・片付け・連絡等)など</td> </tr> <tr> <td>設置・分担</td> <td>①あるとよいと思う係を学級会で話し合つて決める。 ②決まった係の分担を決める。 ③原則的(入学当初以外)には係所属は一定期間固定で行う。</td> <td>①学校の計画や学級経営に必要な組織にしたがつて、学級担任が中心となつて決める。 ②名簿や座席の順番等で決めることが多い。 ③全員が輪番制で行う。</td> </tr> </tbody> </table>		係活動	当番活動	活動内容	○学級の生活をより楽しく豊かにするために、児童自身が生活の中から見付け出し、創り出す活動。 ○児童が話し合いによって計画し、実施していく活動で、創意工夫の余地が多い活動。 〔例〕レク係、新聞係、学級図書係、お誕生日係など	○よりよい学級の生活を送るために必要な活動。 ○年間を通して仕事の内容や方法、時間などが決められていて、どのグループでも同じ成果が求められる活動。 〔例〕日直、給食当番、清掃当番、各教科等の当番(準備・片付け・連絡等)など	設置・分担	①あるとよいと思う係を学級会で話し合つて決める。 ②決まった係の分担を決める。 ③原則的(入学当初以外)には係所属は一定期間固定で行う。	①学校の計画や学級経営に必要な組織にしたがつて、学級担任が中心となつて決める。 ②名簿や座席の順番等で決めることが多い。 ③全員が輪番制で行う。	
	係活動	当番活動											
活動内容	○学級の生活をより楽しく豊かにするために、児童自身が生活の中から見付け出し、創り出す活動。 ○児童が話し合いによって計画し、実施していく活動で、創意工夫の余地が多い活動。 〔例〕レク係、新聞係、学級図書係、お誕生日係など	○よりよい学級の生活を送るために必要な活動。 ○年間を通して仕事の内容や方法、時間などが決められていて、どのグループでも同じ成果が求められる活動。 〔例〕日直、給食当番、清掃当番、各教科等の当番(準備・片付け・連絡等)など											
設置・分担	①あるとよいと思う係を学級会で話し合つて決める。 ②決まった係の分担を決める。 ③原則的(入学当初以外)には係所属は一定期間固定で行う。	①学校の計画や学級経営に必要な組織にしたがつて、学級担任が中心となつて決める。 ②名簿や座席の順番等で決めることが多い。 ③全員が輪番制で行う。											
				◎係活動と当番活動の違いを理解している。 (知識・理解)【観察】									

4/15 (金)	昼休み	計画委員 提案者	<ul style="list-style-type: none"> 活動計画を作成する。 提案理由を確認し、練り上げる。 話し合うこと、めあて、役割分担を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が協力して楽しく活動し、もっと仲よくなれるという視点を踏まえて、児童に分かりやすい提案理由を作成できるよう助言する。 提案理由に沿っためあてが考えられるよう助言する。 ◎提案理由を踏まえためあてや柱立てを考えている。(思考・判断・実践)【発言・観察】
<p>議題「4年1組の係を決めよう」</p> <p>話し合うこと① どんな係があるとよいか考えよう 話し合うこと② 係の分担を決めよう</p>				
	帰りの会	全員	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会が、話し合うことを全員に知らせ、他の児童は学級会ノートに必要なことを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 決まっていること(条件)を共通理解できるように、実態に応じて補足する。 提案理由に沿った意見が考えられるよう助言する。 ◎学級生活をより豊かにする係活動の案を出そうとしている。(関心・意欲・態度)【発言】
4/18 (月)	昼休み	計画委員	<ul style="list-style-type: none"> 全員の学級会ノートに目を通す。 話し合いの準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料確認等を通して、話し合いの見通しがもてるようにする。
<p>話し合うこと① 話し合いを進めるにあたって、どのような意見が出るか、話し合いの方向性を確認する。</p> <p>話し合うこと② 係が決定した後、全員がどのように役割を分担するか決める。</p>				
4/19 (火)	朝の会	全員	<ul style="list-style-type: none"> 教師の言葉が書かれた学級会ノートを受け取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に学級会ノートに励ましの言葉を記入し、活動意欲を高める。

5 本時のねらい

○学級をより楽しく豊かにするために、学級に必要な係を考え、自分の思いや考えを実現する係に所属することができる。

6 展開

第1回学級活動 活動計画 平成23年4月(9日)火 第○校時		
議題	4年1組の係を決めよう	
役割分担	司会() () 黒板記録() () ノート記録()	
提案理由	3年生のクラスでは係がありました。4年1組にも係が必要だと思いません。係があればみんながもっと楽しく仲よくなれるからです。みんなで考えを出し合って4年1組がもっと楽しく、全員が仲よくなれる係を考えたいと思います。	
めあて	4年1組がもっと楽しくみんなが仲よくなれるような係を考えよう	
決まっていること	クラスみんなが楽しくなる。クラスのみんなのためになるような係を考える。友達と協力して仕事ができる係を決める。(係の人数は、3人以上)	
話し合いの順序	気をつけること	資料・時間
1 はじめの言葉	大きな声ではっきりと言う。	8分 掲示資料
2 計画委員の紹介	自分のめあてをいって、自己紹介をする。	
3 議題の確認	大きな声で言う。	
4 提案理由の説明	みんなに分かるように、ゆくり大きな声で言う。	
5 めあての確認	みんなで大げな声で言って確認する。	
6 決まっていることの確認	係の内容、仕事分担について再確認する。	
7 先生の話		
8 話し合うこと	決まっていることを考え、話し合ってもらい、できるだけ多くの考えを出してもらう。できるだけ多くの人の意見を聞く。	
①どんな係があるか考えよう		32分

提案者の思いや願いが学級全員のものとなるよう、学級目標と関連させながら、提案理由を練り上げる。

めあてが、話し合いの技能のみにならないように留意する。

係と当番の違いを再確認し、創意工夫ある係活動の内容を考えるようにする。

学級目標の実現のために必要な係を決める話し合いになるよう助言する。

特別活動

②係の分担を決めよう	<ul style="list-style-type: none"> 理由をはっきりしてもらう。 時間を守るようにする。 提案理由を考えて話し合うようにする。 みんなが取り組むことが可能な係を決定する。 係のメンバー3名以上とする。 ノート記録がはっきりと発表する。 自分のことをしっかり振り返る。 友だちのいいところを見つけられるようにする。 自分のいいところ、友だちのいいところを発表してもらう。
10 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> 3~4人さす。
11 学級会ノートへの記録	
12 感想発表	<ul style="list-style-type: none"> しっかり聞く。
13 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声でしっかり言う。
14 おわりの言葉	

賛成反対
マグネット
(25分)
決定マグネット
(1分)
5分
学級会
ノート

賛成意見がよい（ここにこマーク等）、
反対意見が悪い（泣き顔マーク等）と印象付けるようなマグネットは避ける。

《提案理由に盛り込む内容》

- ①学級の実態
(課題・問題を取り上げる)
- ②話し合いの必要性
(提案者の思いや願いを生かす)
- ③問題の焦点化
(解決への見通しをもつ)

7 指導上の留意点

話し合いの順序	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気話し合うために、元気よく始められるよう助言する。
2 計画委員の紹介	
3 議題の確認	
4 提案理由の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いが、学級全員の思いとなるよう助言する。 ・提案理由を共通理解できるように伝えるよう助言する。
5 めあての確認	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由をまとめたものであるため、はっきりと読み意識付けを行う。
6 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が共通理解できるように、司会者がはっきり発表できるようにする。
7 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由が話し合いの指針となるように意識付けを行う。 ・教育課程の変更に関わることなど児童が変えることのできない、前提となる条件を再確認する。
8 話し合うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・司会が困っているとき、話の方向がそれたり、よりよい話し合いの方法を学ばせたりしたいときは、積極的に助言し、話し合いの進め方や司会の進め方を共通理解できるようにする。 ・自分なりに理由を付けて発言できるよう助言する。 ・発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発言できるよう司会者に助言する。
①どんな係があるか考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか発言できない児童や、進んで参加できない児童には、個別に支援をする。 ・提案理由を意識した意見や、理由が明確な意見、建設的な意見を称賛する。 ・安易に多数決を採らず、一人一人の思いや願いを生かして決められるよう助言する。
②係の分担を決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ◎意欲的に自分の意見を発言しようとしている。(関心・意欲・態度)【発言・観察】 ◎提案理由をもとに自分の意見を考え発言している。(思考・判断・実践)【ノート・発言・観察】

《児童に任せることができない条件》

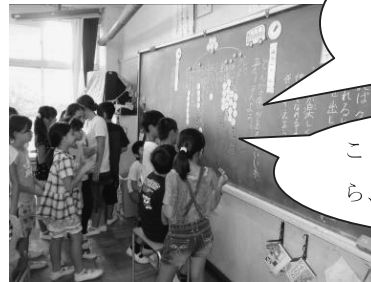
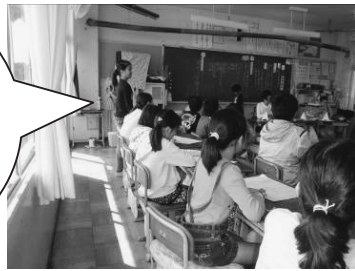
- 個人情報やプライバシーの問題
- 相手を傷つけるような結果が予想される問題
- 教育課程の変更にかかわる問題
- 校内のきまりや施設・設備の利用の変更などにかかわる問題
- 金銭の徴収に関わる問題
- 健康・安全にかかわる問題 など

本活動で留意すること

話し合うこと① 年度当初であるので、意見を出すところから話し合いを進め、話し合いの仕方を確認していく。
学級をよりよく、楽しくすることに焦点を置き、一人一人の思いや願いを生かして係を決める。

話し合うこと② 自分の得意なこと、自分ならできそうなことを考え、係を決めるよう助言する。決められた係すべてに、3人以上が所属できるよう確認する。人数に偏りがある時は、希望する係の変更を促すなど折り合いをつけながら、決めた係が全て編成できるようにする。

レク係がいいと思います。休み時間にみんなで遊ぶと、もっといろいろな人と仲よくなれると思うからです。



物を作るのが好きだから、かざりつけ係に入ろうかな。

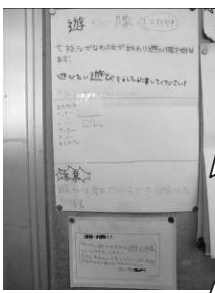


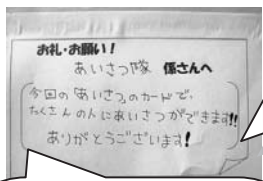
この係は人数が多いから、他の係に移ろうかな。

個人内評価ができる項目をつくり、前回と比べて時の成長が分かるようにする。

- 9 決まったことの発表
- 10 学級会ノートへの記録
- 11 感想発表
- 12 先生の話
- 13 おわりの言葉

- ・みんなで決まったことを再確認できるよう、大きな声で発表できるようにする。
- ・自己評価をしっかりするように、個人的に良かったところを声掛けする。
- ・相互評価の際は発言回数だけではなく、発言内容（建設的な意見や提案理由を意識した意見など）でみるよう助言する。
- ・提案理由を意識した発言等を称賛するとともに、前よりよくなったことを伝える。
- ・計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見直しを確認する。

8 事後の活動

児童の活動	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
<p>4/20 (水) 朝の会</p> <p>○係ごとに活動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前を考える・役割分担をする。 <p>係の名前の工夫</p> <p>遊び係 (レク係) 爆笑チーム (コント係) あいさつ隊 (あいさつ係) 健康のススメ (保健係)</p> <p>なんでもニュース (ニュース係) 調査隊 (アンケート係) かざりグループ (かざりつけ係)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 ・自分たちならではの係の名前を考えるよう助言する。 ・具体的な仕事の内容、いつだれが行うのか役割分担をしっかりと決めるようにする。
<p>4/21 (木) ~</p> <p>○係ごとの活動開始</p>  <p>係のメンバー、仕事内容の掲示</p> <p>動きのある掲示になるよう働きかける。</p> <p>調査隊の結果を報告してもいいかな？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・係からの連絡コーナー、係へのお願いコーナー (掲示) をつくる。 ・帰りの会に「係からの連絡」の時間をとったり、掲示を活用したりしてクラス全体への連絡を発表できるようにする。 ・各係のめあてに沿って、一生懸命活動している係、児童を称賛する。 ◎係活動の内容や、自分の役割、仕事の仕方について考え、実践している。 <p>(思考・判断・実践) 【観察】</p>  <p>スポーツニュースを紹介したいな。</p>  <p>アンケート結果を発表します。</p>
<p>6/9 (木) 学級活動</p> <p>○係の仕事を紹介しよう会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係へのお礼カードの記入  <p>意欲を高めるために、係からの連絡、お礼を掲示し、係活動の様子が見られるようにする。</p> <p>月1回程度、相互評価を行うことができるようにする。</p> <p>係の活動、自分の活動の両方を振り返ることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートを採り、係活動について振り返りができるようにする。 ・係の認め合いの場をつくる。 <p>◎「係の仕事を紹介しよう会」に進んで参加している。</p> <p>(関心・意欲・態度) 【観察・感想カード】</p>

係活動アンケート 名前・係()

- 1 あなたの係は、どんな仕事をしましたか。
- 2 あなたは、係の中でどんな仕事を一生懸命しましたか。
- 3 同じ係の中で一番がんばった人はだれだと思いますか。どんなことをがんばっていましたか。
- 4 係活動を通して、学級目標にあるようなクラスに近づいたと思いますか。
- 5 クラスのために、これからどんな仕事をしていきたいですか。

特別活動

事例2 学級活動 活動内容「(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全」働くことの意義の理解を深める学級活動

1 題材 「最高学年としての役割」 (第6学年 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解)

2 児童の実態と題材設定の理由

本学級の児童は、学級での当番活動だけでなく、学校全体に関わる委員会活動、クラブ活動や縦割り班活動などの異年齢集団活動において、中心的な役割を担い、最高学年として下級生の手本となるように一生懸命頑張っている。様々な場面の仕事に対して、自分なりに真剣に取り組む姿が見られる。しかし、自ら仕事を見つけて取り組むことや問題点を発見して解決しようとするなど、学校生活をよりよくしようと工夫する意識はまだ高いとはいえない。

本題材は、活動内容(2)「エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」に関わり、最高学年として学校で果たすべき役割を自覚するとともに、キャリア教育の一環として働く喜びを感じ、進んで実践する児童を育成することをねらいとする。また、通学班はもとより地域でのスポーツ少年団、子ども会などに所属している児童もいるので、地域の中でも率先して働こうとする意欲も喚起していきたいと考える。

児童がこの題材を学級の共通の問題として捉えることができるように、事前に児童の実態や意識を調査するアンケートや下級生へのインタビューを実施する。その結果から最高学年として期待されていることを知るとともに、活動に工夫が足りないという現状に気づき、一人一人の課題意識を高めていきたい。また、本時の活動では、解決策を深めていく手段として話し合いの場面を積極的に取り入れる。友達と意見交換をしていく中で、よりよい解決策を見いだしていけるようにしたい。そして実践した後、成果について振り返り、互いを認め合う評価を展開していきたい。

題材については、各学校における「学級活動年間指導計画」に示されているものを踏まえて設定する。題材に関係する児童の実態や教師の題材についての指導観によって、1単位時間の展開を考えることが大切である。

3 指導のねらい

- 当番活動や委員会活動などの取組を見直し、最高学年としての役割や働くことの意義が理解できるようにする。
- 問題を解決し、工夫・改善していくための方法について考え、自分のめあてを自己決定し、強い意志をもって意欲的に実践していこうとする態度を育てる。

4 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、仕事を工夫したり改善したりする方法を自主的に自分の生活に取り入れようとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、今までの取組や意識を見直し、課題について話し合い、自分の役割を果たすための目標や方法を考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活の仕方や課題解決に合った方法などについて理解している。

月日(曜日)	活動の場(主体)	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿		
9/20(火)	朝の会(全員)	・アンケート調査を実施し、児童の意識や実態を把握する。	・題材について児童に知らせ、意識や実態を調査するアンケートやインタビューを行う。		
「最高学年としての役割」アンケート調査結果 実施人数 24名					
アンケート項目		よくできている	できている	ややできていない	できていない
自分の仕事に責任をもって取り組んでいるか。		8	1 3	2	1
みんなのため、学校のために取り組んでいるか。		7	1 2		
下級生の面倒をよく見ているか。		1 5	4		
協力したり助け合ったりして取り組んでいるか。		1 3	7		
相談しながら計画的に取り組んでいるか。		6	1 3	4	1
自分の仕事をよりよくしようと、工夫して取り組んでいるか。		6	9	8	1

他に比べ、工夫が不十分であるという実態が見られる。

9/20 (火) ～ 9/26 (月)	休み時間等 (全員)	・下級生へのインタビューを実施し、客観的に見た自分たちの姿や期待されていることなどを把握する。	・アンケートやインタビュー項目は、指導内容に合わせて意図的に設定する。
<p>○「さすが6年生」と思うところはどのようなところですか。</p> <p>○6年生のことをどのように思っていますか。</p> <p>○6年生に期待していることはありますか。</p> <div data-bbox="1029 235 1316 425" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>下級生にインタビュー</p> <p>😊 6年生のことをどのように思っていますか?</p> <p>A. お手になる、いつもまめくれている、やさしい、学校の中心、学校のリーダー</p> </div>			
9/27 (火)	休み時間 (計画委員と教師)	・アンケートやインタビューの結果を計画委員と一緒にまとめる。	・児童の自主的な活動を取り入れる観点から、アンケートの集計、資料づくりなどを計画委員の児童を中心に行わせてもよい。
<div data-bbox="263 571 614 817"> <p>下級生の面倒をよく見ている人が多いのは、6年生としていいことだね。</p> </div> <div data-bbox="837 560 1189 817"> <p>自分の仕事をよりよくしようと工夫して取り組んでいますか。</p> <p>よくできている 6人 できている 9人 ややできていない 8人 できていない 1人</p> <p>他のに比べてできていない人が多い</p> </div> <div data-bbox="1197 560 1444 817"> <p>工夫して仕事に取り組むのは、難しいと感じている人が多いね。</p> </div>			
9/26 (月) 迄に	(教師)	・様々な場面での児童が働く様子を示した資料を用意する。	◎インタビューやアンケートの結果からよい点や問題点を見付け、本時への意欲を高めている。 (関心・意欲・態度)【観察・発言・資料】

児童の働く姿と工夫しているポイントを示した資料

代表委員会のあいさつ運動
「テーマを示してあいさつを呼びかけています」

ブラスバンドクラブの演奏
「6年生が中心となって、休み時間も練習しています」

1年生への校歌の紹介
「ゆっくりと歌いながら分かりやすく教えています」

清掃ボランティア活動
「進んで学校や地域をきれい(に)しています」

クラスをよくする係活動
「『みんなが楽しく自分も楽しく』を考えて活動しています」

アドバイス みんなに喜んでもらえて、自分もやりがいを
感じられるような仕事の工夫を!

- 清掃は、今まで気がつかなかったことに目を向けて行う
・朝の清掃ボランティアは、校門以外の場所をさがして行う
・清掃の時、5分前行動を心がけ、すみずみまできれいにする
- 委員会は、みんなのためになることを考えて仕事を行う
・放送委員会の学校クイズ ・給食委員会の「お魚食べようチェック」
・図書委員会のしおりプレゼント・代表委員会のあいさつボランティア募集
- 下級生との関わりは相手のことを考えて行動する
・なかよしグループの下級生と普段から関わりをもつ
・通学班では自分から元気にあいさつをする
- 係活動は、クラスをよくする、みんなが楽しんでくれる活動を考える
・アンケートをとって活動の内容を考える
・お知らせコーナーを定期的に活用する
- 地域の中でも果たす役割を考える
・サッカーや野球チームで ・子ども会で ・近所の方との関わりで

ICT を活用して資料を提示するのも、分かりやすく伝える手段として有効である。



・アンケートやインタビューの中に出てきた児童の様子を参考に資料を用意する。また、これから取り組んでほしい活動など、児童の意欲を高める上で効果的な活動の例も提示する。



特別活動

6 本時のねらい

- 当番活動や委員会活動など、今までの取組を振り返り、自分の課題を見付ける。
- 最高学年としての役割を考え、学校や地域で何ができるかを話し合い、具体的な行動目標を設定する。

7 展開

段階	学 習 活 動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿	教材・資料
導 入 7 分	<p>1 インタビューやアンケート集計結果を見て気が付いたことを発表する。</p> <p>・6年生は、下級生から期待されている。 ・まとめる力があると思われていて嬉しい。 ・最高学年としてはりきっている人が多い。 ・頑張っている人が多いけど、活動にまだ工夫が足りないかもしれない。 ・工夫するってどうすればいいんだろう。</p>	<p>・学級の共通の問題として捉えられるように、統計資料を活用し、話し合う。</p>  <p>アンケート結果から考えたことをたくさん出し合うことで、課題意識を高めて共有化につなげる。</p>	
展 開 2 5 分	<p>2 アンケート結果から学級の実態を把握し、課題を共通理解する。(意識化・共通化)</p> <p>3 本時の題材を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">最高学年としての役割</div> <p>4 「仕事をよりよく工夫する」の満足度が低かった理由を考える。(原因追及)</p> <p>・清掃当番や委員会などで決められた内容の仕事だけをすればいいと思込んでいたかもしれない。 ・内容を考えるのが面倒で、いつも同じになってしまう。これでは意味があるのかな。 ・リーダーとして縦割り班をまとめるのをいつも班長任せにしていたかもしれない。</p> <p>5 工夫して仕事を行っている友達の考えを聞き、どのようなよさがあるか話し合う。</p> <p>・工夫することのよさは、みんなにさらに喜んでももらえることだと思う。 ・楽しんで仕事ができ、やりがいを感じるので自分のためにもなる。 ・工夫をすることで、下級生の手本になるし、最高学年としての役割が果たせると思う。</p> <p>6 最高学年として、学校や地域でどのようなことに取り組んでいったらよいか話し合う。(解決策)</p>	<p>・児童から出された意見をもとに、問題点を明らかにし、みんなで解決していこうという意欲を高めるようにする。</p> <p>◎自己の生活上の問題に関心を持ち、改善しようとしている。(関心・意欲・態度)【発言】</p> <p>・教師が本時の題材を提示し、解決に向けての意欲化を図る。</p> <p>・話し合いを通して問題の原因をさぐり、追及できるようにする。</p>  <p>工夫するといっても、どうしたらいいかわからないことが多いです。</p> <p>・働くことの意義を再確認できるように、児童の考えを十分引き出すようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3. 下級生の面倒をよく見ていますか。</p> <p>1・②・3・4 (理由 やさしく多めにやるようにしているから)</p> <p>4 協力したり助け合ったりして取り組んでいますか。</p> <p>①・2・3・4 (理由 困っている人がいたら助けてあげたいし、アドバイスもしたい)</p> <p>6 相談しながら計画的に取り組んでいますか。</p> <p>1・②・3・4 (理由 ほかの遊びでみんなが楽しんでいるのを見たら、自分も楽しみたいと思うから)</p> <p>6 仕事の仕事をよりよくしようと、工夫して取り組んでいますか。</p> <p>1・②・3・4 (理由 みんなに喜んでもらうために工夫しているから)</p> <p>6年生になってから、一番頑張ったと思う役割は 運動会の応援団でみんなをまとめたこと。</p> </div>	<p>・インタビューとアンケートの集計結果</p> <p>・アンケートの集計結果</p>
		<p>・活動の様子と工夫している点を示し、具体的な場面を想起できるようにすることで、実践に結び付く活動を考えていけるようにする。</p>	<p>・活動場面の写真 (ICT)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃ボランティアは、学校のためになるので頑張る。決められた場所以外もやりたい。 ・委員会で新しい取組を提案したい。 ・縦割り班のリーダーとして、みんなに喜んでもらえるように遊びの計画を工夫したい。アンケートをとってみようと思う。 ・通学班では、地域の方にも挨拶をしっかり行えるように班員にも声をかけたい。 ・地域のサッカーチームでキャプテンなので、練習後のごみ拾いを率先してやりたい。 	 <p>「あいさつ運動」の工夫で、テーマを大きく書いたものを持って取り組んだら、笑顔で挨拶してくれる人が増えました。</p>
	<p>自分のめあてを立てる際の参考にするように伝えておく。</p> <p>◎最高学年としての役割を自覚し、工夫することの大切さや自分の課題解決に合った方法を理解している。(知識・理解)【発言・観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてを立てる際の参考にするように伝えておく。 ◎最高学年としての役割を自覚し、工夫することの大切さや自分の課題解決に合った方法を理解している。(知識・理解)【発言・観察】
終末13分	<p>7 めあてを自己決定する。(個別化)</p> <p>〈めあての例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃ボランティアで、今までやっていた場所だけでなく、ごみのあるところを2か所以上見つけてきれいにする。 ・週1回、昼休みに下級生を誘って遊ぶ。 ・給食委員会の「お魚食べよう計画」で、みんなにしっかり食べてもらうために魚の栄養について調べて紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なめあてを立てるように助言する。 ・必要に応じて教師が見直し、修正する。 <p>めあてカード</p>  <p>自分はどんなことを頑張ろうかな。回数、曜日などを入れると実行しやすいな。</p>
	<p>8 友達の発表を聞き、自分のめあてを再考する。</p> <p>9 実践への意欲化を図る。(実践化)</p>	<p>友達のめあてを聞く機会を設けることで、自分のめあてが具体的にになっているかを再考し、強い意志決定ができるようにする。</p> <p>◎自分に合った具体的な行動目標を考え、設定している。(思考・判断・実践)【カード】</p>

8 事後指導

月日(曜日)	活動の場(主体)	活動の内容	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
9/28(水) ~ 10/4(火)	各自の活動場所(全員) 帰りの会(全員)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定しためあての達成に向けて実践活動に取り組む。 ・達成できたことや反省点などを振り返る。 ・反省を生かし、継続して取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に工夫がみられるようになった児童の様子や感想を集めて頑張りを称賛すると共に、よさを広めるようにする。 ◎めあての達成に向かって、自ら考え行動している。(思考・判断・実践)【観察・カード】
※継続して	(全員)		

めあてと実践の自己評価が入ったカード



最高学年の役割 めあてカード

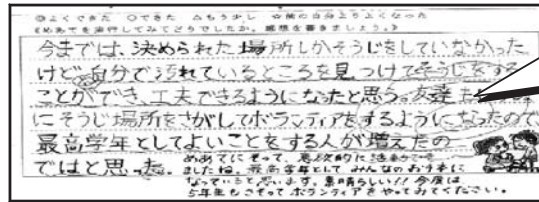
今日の学習をふまえて、最高学年として学校、学習、地域のために、自分自身ばかりでなく、みんなのために、目標を立てて実践しよう。

めあて
縦割り班の清掃ボランティアで、校門付近だけでなく、ごみのあるところを2か所見つけて、そうしる。

月日(曜日)	自己評価(達成度)	自己評価(達成度)
10/28(水)	◎	◎
10/31(土)	◎	◎
11/1(日)	◎	◎
11/2(月)	◎	◎
11/4(水)	◎	◎

◎よくできた ◎できた △もう少し ◎頑張る目標よりよくやった (めあてを達成してみてもいいから、感想を書きよう)

活動の振り返りと教師からの評価




今までには、決められた場所しかそうじしていなかったけど、自分で探しているところを見つけてそうじすることができ、工夫ができるようになったと思う。友達と一緒にそうじ場所をさがしてボランティアをするようになったので、最高学年としてよいことをする人が増えたのではないかな、と思います。

・体験したことを言語化してまとめることを通し、言語活動の充実を図る。
・今後の課題や励ましの言葉なども適宜入れて評価を行うとよい。

頑張っている様子を伝える「すてきな友達」コーナー

すてきな友達 ○○さん



《感謝集会のプレゼントづくりで》折り紙の折り方が分からない1年生に優しく教えていました。1年生も大喜びでした。

掲示コーナーを特設したり、学級通信で紹介したりして、児童の頑張りが多く紹介できるようにする。

特別活動

事例3 児童会活動 内容「(1) 児童会の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流」小中連携を意識したあいさつ運動

1 活動名 「あいさつ運動」

2 本活動設定の理由

児童会活動は、学校生活を共に楽しく豊かにするために学校の全児童をもって組織する異年齢集団の児童会によって行われる活動である。本校の児童会は、任されたことは責任をもって取り組むことができるようになってきたが、児童会として進んで学校のために考えて行動することは難しい面が見られる。そこで代表委員会を定期的に開催し、計画委員（代表委員会の運営・進行：5年生以上各クラス1名）・代表委員（4年生以上各クラス2名）を中心に自分たちで学校の課題を見つけ、話し合い、そのことについて決定したことを実践する取組を積み重ねてきた。


特に本校では、数年前より、通学班を単位とした朝のあいさつ運動を学期に1回、曜日を担当して行っている。担当の児童は、いつもより早く登校し、あいさつ運動を実践している。この他にも、学校応援団の方々や教師と一緒にいたり、保護者の方々が自主的にあいさつ運動に参加したりする姿も見られるようになった。また、昨年度3学期には、中学生によるあいさつ運動も行われた。さわやかな挨拶で一日が始められる学校を目指すこの取組により、挨拶の輪が広がり始めている。

そこで、今年度はさらに、多くの仲間と一緒に活動ができるともっと効果が上がるのではないかという声があり、特に、小学生と中学生と一緒にあいさつ運動を行うことについて考えることになった。小学校学習指導要領解説特別活動編に「中1ギャップに関わる課題に配慮し、社会的な自立を高める中学校への指導につなぐ」とあるように、小学校と中学校が連携した取組であるあいさつ運動は意義あるものであると考える。また、6年生だけでなく、他の学年の児童も中学生と自然に交流できることも中学校への円滑な接続の一助になると考える。

3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
楽しく豊かな学校生活をつくるための活動に関心をもち、他の児童と協力して、積極的にあいさつ運動に取り組もうとしている。	児童会の一員としてのあいさつ運動の役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協力して実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義や組織、あいさつ運動の活動内容、方法などについて理解している。

4 事前の活動

児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
<p>1 代表委員会で、児童会の今年度のテーマを設定する。 決定したテーマ 「あかるくあいさつ ゆうきを出して みなみっ子」</p>  <p>「今年をもっと多くの人とあいさつしてみたい。中学生とも一緒にできるかな…」</p>	<p>・全クラスからの思いが入り、だれでも覚えられるようなテーマが設定できるように助言する。</p> <p>・勇気を出しての部分には、「自分から進んであいさつをして、明るく元気な学校にしよう」という思いが込められているので、具体的な取組が考えられるように助言する。</p> <p>掲示用ポスターなどについては、児童の手で作成できるようにし、活動意欲を喚起するようなものにしていくことが望ましい。</p>
<p>2 あいさつ運動の計画を立てる。</p> <p>1学期・・・学校応援団と一緒に活動する。 2学期・・・中学生と一緒に活動する。 3学期・・・中学生と一緒に活動するが、内容については2学期の取組終了後に検討する。</p>	<p>・計画は、児童だけでは決められないので、事前に計画委員担当教員が学校応援団担当教員、中学校生徒会担当教員と連絡を取り、日程の調整しておく。</p> <p>・3学期の取組内容については、2学期の活動の振り返りを基に検討することを知らせておく。</p>
<p>3 代表委員会であいさつ運動のめあてを考える。 議題『あいさつ運動のめあてを考えよう』 ○決定しためあて 「自分から進んで元気にあいさつしよう」 ○全体に知らせる方法 ・児童会だよりでめあてを伝える ・児童会コーナーに掲示する ・通学班班長会議でめあてを伝える</p>	<p>・めあてを全児童が共有し、理解できるようにするために、代表委員担当教員は、全児童に知らせる方法についての視点をもつことができるように助言する。</p> <p>・いつもより早めの登校になるため、安全面を考慮し通学班ごとにあいさつ運動の日を担当して行う。保護者の協力・教職員の協力を得ることから、日程を書いた文書を配布し事前に周知徹底する。そして、可能な限り、保護者にも一緒に登校してもらい、あいさつ運動に参加してもらうように働きかける。</p>

決定する際は、各クラスで話し合った様々な意見を生かして、めあてが決定できるようにする。

- 4 通学班班長会議を開く。(班長全員)
- (1) 担当日とめあての確認
 - (2) あいさつの練習
 - (3) 通学班の班長から班員へあいさつ運動のめあてと日程の確認
 - (4) あいさつ運動終了後は、必ず反省会を行うことを確認(司会進行は計画委員)

・班長会議の日が決まったら、計画委員が代表委員に知らせ、代表委員がクラスに呼び掛けるように助言する。

◎あいさつ運動の活動内容や方法について理解している。

(知識・理解) 【観察】



担当の日の確認をします。

班員に必ず担当日を知らせてください。

- 5 中学生との打ち合わせをする。
- (1) 自己紹介
 - (2) あいさつ運動のめあての確認
「お互いに交流しながら、自分から進んで元気にあいさつをしよう」
 - (3) お互いに触れ合う工夫
話し合うこと 「触れ合う工夫について」
○出された意見
・小学生と中学生が交互に並ぶ。
・クイズやゲームを取り入れる。
・名札を付ける ・自己紹介と握手をする。
・笑顔で雰囲気を盛り上げる。
○決まったこと
・中学生も班をつくり、小学生と中学生が交互に並ぶ。
・お互いに手作り名札を作る。
・はじめの挨拶とおわりの反省会を小学生と中学生が一緒に行う。

小中の担当教員同士で連絡を取り合う事項

- ・日時と期間 (小学校と中学校の日程を調整する)
→今年度は、7日間のうち2日間一緒にあいさつ運動を行うことが決まった。
- ・事前の打ち合わせの日程
- ・当日の登校時刻
- ・打ち合わせの項目
- ・担当教員、児童、生徒の人数



触れ合う工夫について発表してください。

◎中学生と触れ合う方法について具体的に考え、自分の意見を発言しようとしている。(関心・意欲・態度) 【発言・観察】

・中学生との打ち合わせで決まったことを、職員に知らせ共通理解を図る。


- 6 通学班班長会議を開く。
(中学生とのあいさつ運動を担当する班)
- ・名札を作ることと中学生と交互に並ぶことを知らせる。
 - ・名札用の画用紙を配布する。

名札の紙を配ります。朝学校に来たら付けるように伝えてください。



班の人に名前の書き方を説明して、渡してください。

5 当日の活動

児童の活動	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
<ol style="list-style-type: none"> 1 中学生と計画委員で並び方の確認と司会進行の確認をする。 2 登校した班(あいさつ運動を担当する班)の班員に並ぶ場所を指示する。(計画委員) ・めあての確認と場所の確認をして並んでもらう  <p>おはようございます。 今日は、小学校と中学校合同のあいさつ運動です。笑顔で、大きな声で挨拶をしてみんなで気持ちよく迎えましょう。それぞれの場所に、小学生・中学生が交互に並んでください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで決まったことを確認し、スムーズにあいさつ運動ができるように助言する。 ・並び方が中学生と小学生で交互にできているか、計画委員と一緒に確認をする。 ・元気な挨拶の仕方の確認をする。

特別活動

3 それぞれの分担場所（南門・正門）で挨拶をする。

おはようございます。挨拶が返ってくるとうれしいな。もっと大きな声で挨拶しよう。



- ・登校してくる児童には、自分から進んで元気な挨拶をするように声掛けをする。
- ・あいさつ運動担当の児童には、笑顔で元気に挨拶をして迎えるように声掛けをする。

◎班のみんなと協力して積極的にあいさつ運動に取り組もうとしている。

（関心・意欲・態度）【観察】

- ・話がしっかり聞けるように、通学班の班長がみんなを並ばせるように助言する。

4 中学生と計画委員を中心に、反省会を行う。
（司会進行は中学生と計画委員が一緒に行う）



今日は、元気な挨拶ができていました。めあてが達成されたと思います。これからも自分から進んで挨拶をするようにしたいと思います。（小学生）

みんなが挨拶してくれるとうれしいです。中学校と小学校が協力して挨拶でいっぱい地域にしていきたいです。（中学生）

挨拶が元気にできましたね。班長が元気に挨拶をすると班の人も元気に挨拶ができていました。中学生と一緒に挨拶をして、中学生と交流できて良かったです。挨拶でいっぱいの地域になるようにこれからもがんばりましょう。（担当教員）

反省会で教師が話す視点

- ・班長がお手本となることの大切さを示すこと
- ・あいさつ運動の時だけでなく、いつでも元気な挨拶ができるようにすること
- ・中学生との交流をして、良かったこと
- ・学校生活の向上のための今後の意欲につなげること

◎あいさつ運動の時の自分の役割を考え、めあてを意識して挨拶を実践している。

（思考・判断・実践）【観察・発言】

6 事後の活動

児童の活動

- 1 児童会計画委員が、あいさつ運動の振り返りをする。
 - (1) 中学生と話し合いやあいさつ運動を行ってどうだったか。
 - (2) 3学期のあいさつ運動を行うためにどのように工夫すればよいか。



「名札を付ける」「交互に並ぶ」という取組をやってみました。直接話をするという交流がありませんでした。次はもっと直接かかわる工夫をしてみたいと思いました。

全体的には挨拶がよくできるようになってきたけれど、一人一人にもっと大きな声を出してほしいので、あいさつ運動をする場所を増やして3学期にやってみたいです。

- ・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿

- ・1学期のあいさつ運動と比較するという視点で考えることができるように助言する。
- ・中学生とのあいさつ運動で良かったことや改善点等を考えている児童を称賛する。
- ・3学期のあいさつ運動の実施については、今回の活動を生かして、よりよくするためにはどうしたらよいかという視点で考えることができるように助言する。

◎あいさつ運動を振り返り、良かったことや改善点を考え、発言している。

（思考・判断・実践）【発言・観察】

- 2 通学班ごとに振り返りを行う。
計画委員が作成した振り返りカードに記入する。

あいさつ運動 振り返りカード

名前 ○よむに ○せい ムモツル

① あいさつ運動に進んで取り組んだ。(◎)

② めあてにってあいさつができた。(◎)

③ 中学生と協力してあいさつができた。(◎)

良かったこと

1学期よりも、一人一人が声を出せるようになったと思います。
中学生とは、2日間一緒に行って、1日目はきん張しまはが、2日目は、自然に話かできました。ほとんどの人があいさつをしてくれたのであいさつが広がったと思います。

改善点

今回は、正門や南門であいさつ運動をやったけれど、よう降口や、教室の近くでやっても良かったと思いました。

次の活動につながるように、良かったことや改善点を書きやすい振り返りカードを作成する。

あいさつ運動で体験したことを、振り返りカードの記入を通して言語化し、気づきや思い、実感したことを確認できるようにする。

事例4 クラブ活動 内容「(2) クラブを楽しむ活動」地域の伝統文化を活動に取り入れた手芸・調理クラブの活動

1 活動名 「たらし焼き(郷土料理)」を作る

2 本活動設定の理由

「クラブを楽しむ活動」は、児童の興味・関心をより深く追求していく喜びや、自分たちで計画したことが実現できたという満足感を得られるとともに、学級や学年が異なる仲間と協力して活動を進められた喜びを感じることができる。

また、他のクラブや地域の人々などとの交流を図ることを通して、一層クラブを楽しむことができるようにすることも考えられる。さらに、地域の人々と交流することにより、地域の伝統文化に触れることもできる。

本校では、11月を「ふれあい月間」として各教科や領域の中で地域の方との交流を年間指導計画に位置付けている。これは学校が家庭や地域と積極的に関わりをもち、互いに連携を図って、ともに児童を育てていく組織を強化することを目的としている。

手芸調理クラブでは、この「ふれあい月間」の中でどのように地域の方々と触れ合いをもつかという話し合いを行った。そして、地域の方々の協力を得ながら地域の郷土料理である「たらし焼き」を作る活動を通して、触れ合いをもつことになった。実施に当たっては、教師の指導の下、児童自らが地域の方との積極的な触れ合いができるように取り組みせたい。このような活動を通して、地域の伝統文化を大切にしようとする心情を育みたい。

3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
地域の伝統文化に興味・関心をもち、積極的に活動に取り組もうとしている。	地域の郷土料理を作るために、話し合い、クラブの一員として仕事を分担し、安全に楽しく活動している。	共通の興味・関心を追求するクラブ活動の意義やそのための活動内容、方法などについて理解している。

4 事前の活動

<p>児童の活動</p> <p>1 「ふれあい月間」での活動内容について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">クラブ活動計画表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>月</th> <th>日</th> <th>期</th> <th>活動計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>13日</td> <td>1</td> <td>新編編成・活動計画の立案</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">2 年 生 の ふ れ あ い 月 間</td> <td>9</td> <td>29日</td> <td>12</td> <td>ふれあい月間で何をするか話し合ふ(アスター作)</td> </tr> <tr> <td>17日</td> <td>13</td> <td></td> <td>アスター作りの焼き(おはし編成)</td> </tr> <tr> <td>31日</td> <td>16</td> <td></td> <td>地域の方とたらし焼き作り(ゲーム作りの計画と分任)</td> </tr> <tr> <td>21日</td> <td>16</td> <td></td> <td>ゲーム作りの計画と分任</td> </tr> <tr> <td>29日</td> <td>17</td> <td></td> <td>ゲーム作りの計画と分任</td> </tr> <tr> <td>12日</td> <td>12日</td> <td>19</td> <td>2学期の活動振り返り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3</td> <td>1</td> <td>29日</td> <td>19</td> <td>マスク作り</td> </tr> <tr> <td>8日</td> <td>20</td> <td></td> <td>マスク作りの焼き</td> </tr> <tr> <td>13日</td> <td>21</td> <td></td> <td>バグさん着せ作り(地域の方へプレゼント)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20日</td> <td>22</td> <td>バグさん着せ作り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>27日</td> <td>23</td> <td>3年生クラブ見学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>12日</td> <td>24</td> <td>1年間の活動振り返り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域の方へのお願いの手紙を書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>地域の皆様へ</p> <p>わたしたち〇〇小学校の</p> <p>お祭りでは、郷土料理のたらし</p> <p>焼きを作りたくなりました。</p> <p>ぜひ、地域の方と一緒に調理を</p> <p>したいと考えています。</p> <p>楽しいふれあいができることを期待</p> <p>しています。どうぞおこしください。</p> <p>〇〇小学校 手芸調理クラブ</p> <p>クラブ長 〇〇〇〇</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〇〇〇〇さんへ</p> <p>一緒にたらし焼き作りが</p> <p>できることを楽しみにして</p> <p>います。お待ちしております。</p> <p>日時 (〇月〇日(月))</p> <p>お申し込み</p> <p>よろしくお願ひします。</p> <p>〇〇小学校</p> <p>相談係 〇〇</p> </div> </div>	学年	月	日	期	活動計画		4	13日	1	新編編成・活動計画の立案	2 年 生 の ふ れ あ い 月 間	9	29日	12	ふれあい月間で何をするか話し合ふ(アスター作)	17日	13		アスター作りの焼き(おはし編成)	31日	16		地域の方とたらし焼き作り(ゲーム作りの計画と分任)	21日	16		ゲーム作りの計画と分任	29日	17		ゲーム作りの計画と分任	12日	12日	19	2学期の活動振り返り	3	1	29日	19	マスク作り	8日	20		マスク作りの焼き	13日	21		バグさん着せ作り(地域の方へプレゼント)	2	20日	22	バグさん着せ作り		27日	23	3年生クラブ見学		3	12日	24	1年間の活動振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 ・クラブ活動としての触れ合いにふさわしい内容を発言できるように、事前に自分の考えをカードに記入してくるよう助言する。 ・地域の方との触れ合いが継続していくような計画を立てることができるよう助言する。 ◎「ふれあい月間」の意義や、地域の方と楽しく触れ合うための活動内容や方法を理解している。 (知識・理解) 【振り返りカード】 ・学校からの協力依頼文書とともに、児童からのお願いの手紙も配布することで、自主的に活動する意欲をもたせる。 ・地域の方と事前に打ち合わせをし、児童との活動がスムーズにできるようにしておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>打ち合わせの際の確認事項の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童の実態 ○クラブ活動の意義 ○児童の発意・発想を大切にしていること </div> <ul style="list-style-type: none"> ・材料、調理器具の準備と確認をする。
学年	月	日	期	活動計画																																																										
	4	13日	1	新編編成・活動計画の立案																																																										
2 年 生 の ふ れ あ い 月 間	9	29日	12	ふれあい月間で何をするか話し合ふ(アスター作)																																																										
	17日	13		アスター作りの焼き(おはし編成)																																																										
	31日	16		地域の方とたらし焼き作り(ゲーム作りの計画と分任)																																																										
	21日	16		ゲーム作りの計画と分任																																																										
	29日	17		ゲーム作りの計画と分任																																																										
	12日	12日	19	2学期の活動振り返り																																																										
3	1	29日	19	マスク作り																																																										
	8日	20		マスク作りの焼き																																																										
	13日	21		バグさん着せ作り(地域の方へプレゼント)																																																										
	2	20日	22	バグさん着せ作り																																																										
	27日	23	3年生クラブ見学																																																											
	3	12日	24	1年間の活動振り返り																																																										
<p>3 班編成をし、持ち物の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・安全上の配慮のため、材料は教師が一括購入し、食材は教師が管理することが望ましい。 ・材料費は後日人数割りをし、全員で分担する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学年による技能差を考慮し、教え合いができるようなグループ分けをする。 																																																													

5 当日の活動

児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
1 はじめの挨拶・出欠確認 2 地域の方の紹介 3 今日の活動予定の確認 4 グループに分かれての活動 (1) グループごとに自己紹介をする。 (2) 地域の方の指示に従って調理をする。 手順① 野菜を粗みじん切りにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気の中で活動できるように気持ちのよい挨拶のできた児童を称賛する。 ・地域の方を身近に感じられるような紹介の仕方を工夫し、積極的に交流しようとする気持ちをもてるようにする。 ・安全に楽しく活動できるように助言する。 ・地域の方との関わりをもてるような声掛けをする。 ・全員が何らかの役割を担い調理に参加できるように、事前に指導しておく。 ◎みんなで仕事を分担し安全に楽しく活動している。(思考・判断・実践)【観察】 ◎友達と仲よく協力して活動しようとしている。(関心・意欲・態度)【観察】
 <p>粗みじん切りは、こう切るのよ。</p>	手順② 小麦粉を水で溶く。  <ul style="list-style-type: none"> ・手を出しすぎず、見守る姿勢を大切にしてもらう。 ・クラブ活動が児童の自発的、自治的な活動であることの趣旨を十分に理解してもらうことが大切である。
手順③ 野菜と水で溶いた小麦粉を混ぜる。  <p>みじん切りにした野菜を入れるよ。 わあ、彩りがきれいだね。</p>	手順④ 焼く。 
(3) 地域の方と試食をする。  <p>他には、どんな郷土料理がありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化への興味が深まるように、他の郷土料理についても話してもらうよう地域の方に事前をお願いしておく。 <p>残りご飯を入れる作り方もあるのよ。 他にもこの地域では昔から〇〇をよく食べるわ。</p>
 <p>これなら私にもできそうです。今度は自分で作ってみます。</p>	<p>おいしくできたね。今日は来てよかったわ。また一緒にやりたいね。</p>
<p>料理の手順やできあがった料理は写真に撮っておき、クラブ活動だよりで紹介したりクラブ活動コーナーに掲示したりできるようにしておくとい。</p>	
5 活動の振り返り (1) 感想発表をする。 (2) お礼の言葉を述べる。 6 後片付け・おわりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の準備から当日までお世話になった事への感謝の気持ちを表すように事前に指導しておく。 ・素早く協力して行えるように、事前に段取りを確認する。

6 事後の活動及び活動の広がり

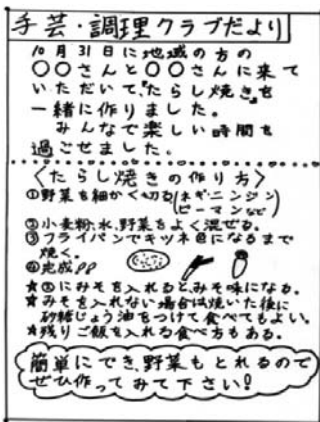
- (1) クラブ活動評価カードへの記入をして、活動を振り返る。(資料1)
- (2) クラブ活動だよりやクラブ活動コーナーを活用して活動の様子や料理のレシピを掲載し、全校に知らせる。(資料2・3)
- (3) 活動に参加した地域の方に感想等を記入していただき、今後の活動に生かす。(資料4)
- (4) 3月に活動のまとめとして、作成した小物をお礼の手紙とともにお世話になった地域の方にプレゼントする。

(資料1) クラブ活動評価カード

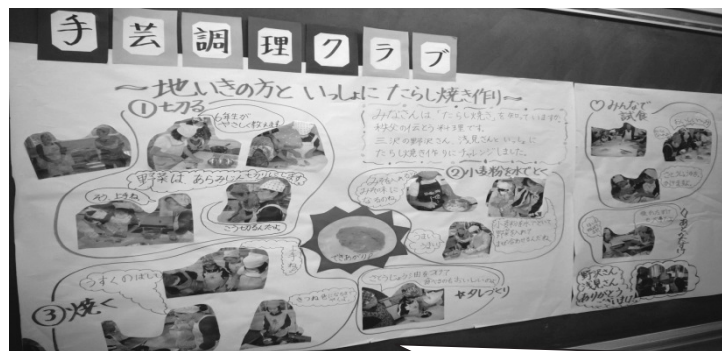
月 日	活動内容や感想	自己評価				先生より
		進んで	楽しく	協力	準備 片付け	
9 26	「触れ合い月間」で自分の意見を進めたい。児童のよさを認め、児童自身が自己肯定感を高めることができるように、カードを活用していくことが大切である。					積極的に意見を出し、みんなリードできましたね。
10 17	地域の方へプレゼントするコースターを作った。4年生に縫い方を教えてあげられた。	◎	◎	◎	◎	中高学年としての自覚をもった活動ができましたね。
10 24	たらし焼き作りの班を決めた。クラブ長として、バランスよく分けられたと思う。	◎	○	◎	◎	次回の実習が楽しみです。
10 31	地域の方とたらし焼き作りをした。調理も会話も楽しかった。また計画したい。	◎	◎	◎	◎	今後も地域の方とのつながりを大切にしましょうね。

地域の方との触れ合いを、今後の活動に生かそうとする意欲がもてるような教師の助言を加えるようにしたい。

(資料2) クラブ活動だより



(資料3) クラブ活動コーナー



- ・なるべくたくさんの児童の活動を掲載できるようにする。
- ・実際の活動の他にも、地域の方から教えていただいた料理のレシピを載せると活動意欲が高まる。

「ふれあい月間」アンケートのお願い

本日は、本校の「ふれあい月間」における手芸調理クラブの活動に参加していただきありがとうございます。今後の取組の参考にさせていただきたいと思っておりますので、アンケートへの記入をお願いいたします。

- 1 担当したグループの人数(3～4人)は適切でしたか。
 はい いいえ
- ※ 「いいえ」と答えた方は、何人くらいが適切だと思いますか。()人
- 2 児童は積極的に活動していましたか。
 はい いいえ
- 3 今後このような活動があった場合、参加してみたいと思いませんか。
 はい いいえ
- 4 本日の感想や児童へのメッセージをお願いします。

今日はみんなで一緒に地域の郷土料理を作っても楽しかったです。おばあちゃんに大人に作ってもらって食べる料理なので、懐かしい味がしました。

(資料4) 参加者の感想

今日はみなさんと一緒に地域の郷土料理を作るとても楽しかったです。おばあちゃんも子どものころに大人に作ってもらって食べた料理なので、懐かしい味がしました。また、たくさんお話をできてうれしかったです。

郷土料理は、ずっと昔から地域の人々に親しまれて受け継がれてきたものです。みなさんもこの料理を大切にしていってほしいなと思います。

またこのような機会があったら、みなさんと一緒に活動できることを楽しみにしています。

- ・参加者の感想をクラブ活動コーナー等に掲示することは、地域との触れ合いに対する児童の意欲を高め、交流を発展させるために効果的である。アンケート結果は今後の取組の改善に役立てることが大切である。
- ・クラブ活動は、教師の適切な指導の下に、児童の発意・発想に基づいて活動計画を作成し、児童による自主的、実践的な活動を展開することが大切であるので、地域の方に任せきりにしないことが重要である。

特別活動

事例5 学校行事（3）健康安全・体育的行事）地震などの自然災害の発生を想定した避難訓練

1 活動名 「避難訓練」

2 本活動設定の理由

本校では、各学期に1～2回避難訓練を実施している。想定は、「火災の発生」「地震の発生」「危害を加えようとする不審者の進入」「休み時間に発生した火災」で、毎回ねらいを明確にすることで、児童が有事の際、どのように行動すればよいか実践につながるように取り組んできた。地震の発生を想定した避難訓練では、これまで、関東地方に震度6の直下型地震が発生した場合のようにすればよいか、という想定で児童に指導してきた。その中で、「素早く身体を守るようにする」「本震が収まったら指示に従い速やかに運動場に避難する」「『おかしもち』を徹底する」（下記参照）等を指導のポイントとしてきた。しかしながら、今回の大震災により、実際の状況は訓練としての想定をはるかに超えるものであったことを体感した。

そこで、本活動では、児童が切実感をもって避難訓練に取り組めるよう、児童が積極的に参加できる手立てと日常の指導を充実することができるような活動を展開できるように計画した。避難訓練の中でどのように避難すればよいか児童自身が実践を通して確認することで、災害発生時に身の安全を確保することができるようにしたい。

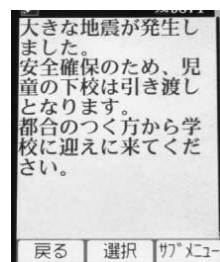
3 評価規準

集団活動や生活への関心・意欲・態度	集団の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
地震などの大きな自然災害が発生した場合の行動の仕方などについて学び、積極的に避難訓練に取り組もうとしている。	学校や学年の一員としての自覚をもち、地震などの大きな自然災害が発生した場合、状況に応じてどのように行動すればよいか考え、判断し、実践している。	地震などの大きな自然災害が発生した場合の行動の仕方や配慮すべき事項などについて理解している。

4 事前の活動

○ 日常の教師の配慮事項

- ① 日常的な安全確認を継続する
 - ・校舎等の、安全点検で危険が予想される箇所については、表示、固定、補修、修繕、修理等策を講じておく。
- ② 緊急事態における安全を確認する
 - ・避難経路の確認箇所の優先順位を決めておく
- ③ 保護者への連絡について、全職員で共通理解しておく
 - ・引き渡しの条件、行動様式、迎えに来られなかった場合の対応等、通知（図解入り）する。
- ④ 学校に待機・避難する児童がいる際の対応を全職員で共通理解する。
 - ・緊急時に待機・避難する児童をどの教室に配置するか計画を立てておく。
- ⑤ 防災マニュアルを整備し、全職員で共通理解しておく
 - ・防災マニュアルの簡単な内容を保護者にも配布する。
 - ・携帯メール等での連絡システムの登録・解除について確認する。
 - ・防災倉庫の内容物の確認と扱いについて、研修で共通理解を図っておく。



【⑤の携帯画面】

○ 当日の朝の会

児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿
<p>1 地震が起きた時、どのように行動するのがよいか確認する。</p> <p>防災頭巾をかぶり、並び方を確認する児童</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練のねらい、日時、流れ、避難経路等を児童と確認する。 ・学年等の実態に応じて、防災頭巾の装着の仕方を師範しながら指導する。 ・避難指示の放送が流れたら、それに従って避難し、放送が流れなければ、近くにいる教師からの指示を受け、速やかに避難することを確認する。 ・基本的な流れ以外の部分も確認する。 (放送機器が使えない場合、避難時に余震が発生した場合等) ・「おかしもち」の行動様式を確認する。 →「お」：押さない 「か」：かけない（走らない） 「し」：しゃべらない 「も」：戻らない 「ち」：近づかない ・緊急時に引き渡しを行う場合は、次のことを確認する。 →保護者と担任とが対面した上で、保護者と一緒に帰る。 →今日の訓練では、時間内に迎えに来られなかった場合は、家の近い人で下校班を組んで一緒に下校することを伝える。 →保護者が迎えに来ることができない場合には、迎えに来ることができるまで学校に教師と一緒に残っていることも伝える。 	<p>◎大きな自然災害が発生した時の行動様式を理解している。（知識・理解）【観察】</p>
<p>2 引き渡し訓練の方法についてどのようにするのか確認する。</p>	<p>◎目指す児童の姿</p>	

5 当日の活動（金曜日の5校時に実施）

児童の活動	時刻	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿						
1 地震発生時に大切なことや望ましい行動の仕方について考える。 2 基本的な避難の行動様式を確認する。	14:00 14:02	<ul style="list-style-type: none"> この直後に避難訓練を行うことを伝え、「安全に避難することができるようにする」という視点で考えるよう助言する。 カードを提示し、場面ごとにどのように行動するのがよいか説明する。 						
 <p>提示しているカードを板書で掲示</p>		<p style="text-align: center;">場面として示しておく参考例</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="638 414 1013 616"> <p style="text-align: center;">授業中、教室で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の下にかくれる 防災ずきんをかぶる 先生の指示にしたがう <p>(ひなん経路を確保するため、教師が戸を開ける)</p> </td> <td data-bbox="1013 414 1412 616"> <p style="text-align: center;">授業中、体育館で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館の真ん中に集まる 帽子をかぶり頭を守る 先生の指示にしたがう </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 616 1013 817"> <p style="text-align: center;">休み時間にろう下で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ窓からはなれる 近くの教室に入る ゆれが落ち着いたら校庭へひなんする </td> <td data-bbox="1013 616 1412 817"> <p style="text-align: center;">休み時間校庭で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 声をかけあって座る ゆれが落ち着いたら校庭の真ん中に集まる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる </td> </tr> <tr> <td data-bbox="638 817 1013 1064"> <p style="text-align: center;">通学途中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれて班員をすわらせる 家が近ければ家にもどる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる </td> <td data-bbox="1013 817 1412 1064"> <p style="text-align: center;">友だちと下校中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれてすわる 学校の方が近ければ学校にもどる マンションではエレベーターにのらない </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">授業中、教室で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の下にかくれる 防災ずきんをかぶる 先生の指示にしたがう <p>(ひなん経路を確保するため、教師が戸を開ける)</p>	<p style="text-align: center;">授業中、体育館で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館の真ん中に集まる 帽子をかぶり頭を守る 先生の指示にしたがう 	<p style="text-align: center;">休み時間にろう下で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ窓からはなれる 近くの教室に入る ゆれが落ち着いたら校庭へひなんする 	<p style="text-align: center;">休み時間校庭で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 声をかけあって座る ゆれが落ち着いたら校庭の真ん中に集まる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる 	<p style="text-align: center;">通学途中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれて班員をすわらせる 家が近ければ家にもどる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる 	<p style="text-align: center;">友だちと下校中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれてすわる 学校の方が近ければ学校にもどる マンションではエレベーターにのらない
<p style="text-align: center;">授業中、教室で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の下にかくれる 防災ずきんをかぶる 先生の指示にしたがう <p>(ひなん経路を確保するため、教師が戸を開ける)</p>	<p style="text-align: center;">授業中、体育館で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館の真ん中に集まる 帽子をかぶり頭を守る 先生の指示にしたがう 							
<p style="text-align: center;">休み時間にろう下で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ窓からはなれる 近くの教室に入る ゆれが落ち着いたら校庭へひなんする 	<p style="text-align: center;">休み時間校庭で地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> 声をかけあって座る ゆれが落ち着いたら校庭の真ん中に集まる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる 							
<p style="text-align: center;">通学途中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれて班員をすわらせる 家が近ければ家にもどる ケガをしていないか声をかける 小さい子の手をつないであげる 	<p style="text-align: center;">友だちと下校中に地しんがおきたら</p> <ul style="list-style-type: none"> かべやマンションからできるだけはなれてすわる 学校の方が近ければ学校にもどる マンションではエレベーターにのらない 							
 <p>地震発生時の行動様式を絵で提示</p>								
3 自分のめあてと方法を決めてカードに記入し、教師の話聞く。	14:05	<ul style="list-style-type: none"> 教師から示す振り返りの視点の他に、事前に自分で決めた実践目標についても振り返ることができるように個人めあて欄をカードに位置付ける。それによって、実践に対する児童の必要感を高め、一人一人が地震発生時の行動の在り方をもとに有事の際にどのように行動すればよいか確認できるようにする。 						
 <p>避難する児童</p>		<ul style="list-style-type: none"> 学級活動年間指導計画を見直し、【共通事項（2）カ心身ともに健康で安全な生活態度の形成】の防災に関わる内容を年間指導計画に新たに位置付ける。また、学年ごとの展開例を示し共通理解を図ることができるようにする。 方法については、自分がどのように行動するか具体的な言葉で記入するよう助言し、実践に向けての緊張感を高める。 						
		<p>◎地震が発生した場合、状況に応じて自分がどのように行動すればよいか考え、記入している。(思考・判断・実践)【実践カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> いざという時の行動が、自分と仲間の命を守ることにつながることを話し、訓練の大切に気付くことができるようにする。 表全体の振り返りの会で感想発表をする児童については、全体的な感想に終始せず、自分で決めためあてについての実現状況に触れるよう事前に助言しておく。 						
4 サイレンと担任（授業担当）の指示のもと、机の下に体を入れる。	14:15	<ul style="list-style-type: none"> 本部へ運搬する物品などを確認する（担任外） 授業開始15分後、放送でサイレンのみ流す。 						
5 指示に従い、第1避難場所（運動場）へ避難する。	14:17	<ul style="list-style-type: none"> 本活動は、緊急放送が使えないことを想定しているので、1分程度経過の後、担任外職員が手分けをして各階に連絡をして回る。並行して、本部設置をする。 						

<p>6 全体会で話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(1) 安全主任の話 (2) 児童の感想発表 (3) 保護者の方の感想発表 (P T A 役員に依頼) (4) 消防署の方のお話 (5) 校長先生のお話</p> </div>	<p>1 4 : 2 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人員数報告後、全体会を行う。 ◎避難時の行動様式に従い、避難しようとしている。 (関心・意欲・態度)【観察】 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>・学校公開日に行い、消防署の方の指導をいただくとともに、参観した保護者にも感想を言ってもら。そのような家庭や地域との連携を通して、避難訓練の大切さについて、一層の理解を図る。</p> </div>
<p>7 引き続き、引き渡し訓練を行う。</p> <p>(1) 保護者への説明の後、引き渡しを始める。</p> <p>(2) 一定時間経過の後、放送の合図を受けて地区ごとに教室に入る。</p> <p>(3) 放送の合図で、地区ごとに順に下校する。</p>	<p>1 4 : 3 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の一環として引き渡し訓練を行うので、移動も安全かつ速やかに行うよう助言する。 ・引き渡しできなかった児童を地区ごとに教室に移動させ、今後のこと、有事の際のことを指導し、順次下校するよう放送で指示を出す。地区担当職員が同行し、各地区の危険箇所についての情報収集も行う。 ◎引き渡し訓練時の行動様式を理解している。 (知識・理解)【観察】 ・児童には、保護者への引き渡し後、教室へ荷物を取りに行くよう伝える。

6 事後指導

児童の活動	・指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
<p>1 振り返りカードをもとに、自分の行動を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本活動は、金曜日の5校時に実施したため、事後の指導は、翌週月曜日の朝の会に行う。 ・自分で決めたためあても含め、カードの記入を通して事前の確認事項を本時につなげられたかどうか、という視点で振り返るよう助言する。
<p>2 感想発表をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想の交流をすることで、実現状況の相互理解を図るとともに、非常時の実践に対する緊張感を高める。 ◎地震が発生した時に、どのように行動すればよいか、考え、判断し、実践している。(思考・判断・実践) 【発表・振り返りカード】
<p>3 教師の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に際しての備えをすることの大切さと、一人のけが人もなく全児童が安全に避難できるような訓練の重要性を確認する。 ・評価活動をもとに、今回の取組を有事の際に対応できるようにする。

避難訓練カード

5年 2組 (〇〇 〇〇)

今日の避難訓練を振り返ってみましょう。
(よくできた時、できた時、あまりできなかった時、記録できなかった時)

しつもん	記号
地しんがおきた時、すぐに体をかくことができた	◎
「お・か・し・も・ち」を守って、避難できた	◎
地震が起きた時にどのようにすればよいかわかった	◎
自分で決めたためあてと方法について振り返ろう	
わがて：後ろに並ぶ友達も安全にすぐ避難できるようにする かま：列の前の人と間を空けないでがんばる	◎

感想を書こう

サイレンが鳴った時にあの日のことを思い出してこわくなったけど、山田くんが「すぐもぐらさ」と言ってくれたので、ちゃんとできました。自分のためでも思い出させていたので、階段でも校庭でもしゃかりできました。

今日は訓練だったけど、こんなことが実際に起きないでほしいです。

〇〇とし、この時がわかってもらえたら、いいかなって思ってます。だから自分のためでも思い出せんか、みんなもみんな地震が起きないでほしいです。

・体験したことを振り返りカードの記入を通して言語化し、気づきや思い、実感したことを確認できるようにする。

・振り返りカードの記入にあたっては、本時と事後で記入内容を以下のように分ける。

本時（避難訓練前）
→「自分で決めたためあてと方法」

事後（後日）
→各項目の「記号」欄にある自己評価
→感想